

あなたが支える市民活動応援事業 補助金交付申請書

大分市長 佐藤 樹一郎 殿

所在地 大分市金池町4丁目9-4
団体名 一緒に歩こう会 居場所サロンわかばハウス
代表者氏名 河野 博明
電 話 080-2798-1661
担当者名 XXXXXXXXXX
担当者連絡先 XXXXXXXXXX

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第5条の規定により、次のとおり申請します。

記

1. 事業名 児童養護施設などの若者に寄り添う伴走型居場所活動
2. 事業の概要 平成30年4月任意団体「一緒に歩こう会 居場所サロンわかばハウス」を設立。児童養護施設などの社会的養護での生活経験のある若者を対象に、金池町の民家を活用した家庭的な雰囲気居場所づくりをおこなっている。コロナ禍で困窮した若者ひとりひとりのペースでの自立や成長を促すとともに、20代～70代の幅広い年代のボランティアとの交流の中で、自らの力で生きていくために不可欠な知識や経験を獲得する機会を提供している。
3. 事業費 330,000 円
4. 交付申請額 139,500 円
5. 概算交付 概算交付を希望する。
概算交付を希望しない。
※ 概算交付を受けるには、過去に当該事業で補助を受けた実績が必要です。
6. 添付書類 (1) 団体調書(様式1-1、1-2)
(2) 事業計画書(様式2)
(3) 収支予算書(様式3)
(4) 団体要件・事業要件確認シート(様式4)
(5) 誓約書(様式5)
(6) 規約、会則、定款等の写し
(7) その他市長が必要と認める書類

- (i. 本制度に関する予算については、3月の第1回定例会での予算可決をもって決定されます)
- (ii. この内容は、大分市ホームページ等で公表いたします。)

団 体 調 書

1 団体の概要

団 体 名	(ふりがな) いっしょにあるこうえい いばしょさろんわかばはうす 一緒に歩こう会 居場所サロンわかばハウス				
住所	〒 870-0026 大分市金池町4丁目9-4				
代表者氏名	(ふりがな) こうの ひろあき 河野 博明		FAX (団体)		
電話 (団体)	080-2798-1661		E-mail (団体)		jidou8899@yahoo.co.jp
設立年月日	平成30年4月12日	ホームページ	○有 ・ 無		団体構成員数 18人
活動の分野 ※別表参照	主分野 (1つ)	1		その他の分野	2・10・13
連絡責任者 ※この申請について問い合わせをしたときに対応できる方	住所	[REDACTED]			
	氏名	(ふりがな) [REDACTED]	FAX	[REDACTED]	
	電話	[REDACTED]	E-mail	[REDACTED]	
主な活動地域	<input checked="" type="checkbox"/> 市内全域 <input type="checkbox"/> 大分中央 <input type="checkbox"/> 大分東部 <input type="checkbox"/> 大分西部 <input type="checkbox"/> 大分南部 <input type="checkbox"/> 南大分 <input type="checkbox"/> 鶴崎 <input type="checkbox"/> 大南 <input type="checkbox"/> 植田 <input type="checkbox"/> 大在 <input type="checkbox"/> 坂ノ市 <input type="checkbox"/> 佐賀関 <input type="checkbox"/> 野津原 <input type="checkbox"/> 明野				
団体の活動目的 ※簡潔明瞭に記入してください	<p>児童養護施設などの社会的養護での生活経験のある若者は、家庭生活で自ずと身につけていく知識や経験を獲得する機会を奪われたまま、頼りになる年長者を持たず自らの力だけで生活している。コロナ禍でこれまで以上に孤立や貧困などと隣り合わせの厳しい生活を送る彼らに、暖かい眼差しを向け見守る職業や性別も様々な幅広い年代(20~70代)のボランティアがいることと、同じような境遇の仲間がいて助け合えることを体感できる居場所づくりをおこなう。</p>				
これまでの 主な活動実績	年度	事業名		実施回数	参加者数
	令和4	居場所サロン		82回	251名
	令和3	居場所サロン		89回	294名
	令和4	支援者意見交流会		1回	5名
これまでに補助 や委託を受けた 実績	年度	補助(委託)元	補助事業名		金額
	令和3	大分市	1%応援事業		77,154円
	令和3	独立行政法人福祉医療機構	子どもの未来応援基金		1,000,000円
	令和4	大分市	1%応援事業		87,838円

2 活動計画書

事業の実施に関する事項

(1) 公益的活動に係る事業

1%応援
事業補助
対象事業
を記載

事業名	事業内容	実施予定 日 時	実施予定 場 所	受益対象者の 予定人数 (延べ)	実施予定 回 数 (延べ)	予 算 額 (千円)
児童養護施設な どの若者に寄り 添う伴走型居場 所活動	居場所づくり 農業体験 季節行事 スポーツ交流 などを実施	毎週火・ 木と毎月 1回日曜 日	大分市 金池町	300	100	330
小 計					100 (a)	330 (c)

(2) その他の活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定 日 時	実施予定 場 所	受益対象者 の予定人数 (延べ)	実施予定 回 数 (延べ)	予 算 額 (千円)
支援者交流事業	意見交換会や勉 強会を開催し、 情報共有を行う	4, 10, 3月	大分市内	20	3	30
小 計					3 (b)	30 (d)

合 計	(a) + (b) 103	(c) + (d) 360
-----	------------------	------------------

カテゴリーごとの公益的活動の割合 ※小数点以下は四捨五入してください。	(a) / (a) + (b)	(c) / (c) + (d)
	97% (A)	92% (B)
全活動に占める公益的活動の割合 $\{(A) + (B)\} \div 2 \times 100$ ※小数点以下は四捨五入してください。	95%	

事業計画書

事業名	児童養護施設などの若者に寄り添う伴走型居場所活動	
事業内容	主な対象者	児童養護施設などの出身の若者とボランティア
	内容	児童養護施設などの社会的養護での生活経験のある若者は、家庭生活で自ずと身につけていく知識や経験を獲得する機会を奪われたまま、頼りになる年長者を持たず自らの力だけで生活している。コロナ禍でこれまで以上に孤立や貧困などと隣り合わせの厳しい生活を送る彼らに、暖かい眼差しを向け見守る職業や性別も様々な幅広い年代(20~70代)のボランティアがいることと、同じような境遇の仲間がいて助け合えることを体感できる居場所づくりをおこなう。看護師や管理栄養士等の専門職の協力により、健康づくりに視点をおいた季節行事をおこなう。
事業スケジュール ※別紙添付可	時期(月)	内容(新型コロナウイルスの感染状況により変更する場合あり) 4月 お花見ウォーキング(城址公園、遊歩公園) 6月 コメ農家による講話と田植え体験(大分県杵築市山香町) 7月 夏バテ予防栄養学習会 9月 看護師による健康相談会(居場所サロンわかばハウス) 10月 コメ農家による講話と稲刈り体験(大分県杵築市山香町) 11月 オレンジリボンたすきリレー参加 12月 収穫した餅米を使用した餅つきと食料品等の配布 2月 管理栄養士による収穫したお米を用いた料理教室
広報計画・方法 ※参加市民等の受益対象者の増加に向けた具体的な広報計画等	<input type="checkbox"/> ホームページ <input checked="" type="checkbox"/> チラシ、広報誌 <input checked="" type="checkbox"/> facebook等のSNS <input checked="" type="checkbox"/> その他(具体的に) ・児童福祉施設(児童養護施設、母子生活支援施設など)や里親・ファミリーホームなどの関係機関へチラシを送付 ・NPO 博など、市民に当団体の活動を知らせることができるイベントに積極的に参加する。	
自己収益金の拡大に向けた取り組み ※自己収益金とは会費収入、事業収入や寄付金収入等であり、補助金や交付金による収入は含まれません	①ボランティア会員を増やし、現在は週2~3日しか開所していないわかばハウスの開所日時を増やし、利用者にニーズに対応するとともに、利用料収入の増加を目指す。 ②Facebook、LineなどのSNSでの広報をより充実させることにより、多くの人に当団体の活動に対する認知を深め、会員や寄付金収入の増加を目指す。	
見込まれる効果 ※地域にどのような効果をもたらすのか、また市民福祉の向上にどのようにつながるのか	①コロナ禍を生きる若者が安心感のある居場所を持つことで、孤立やひきこもり状態に陥ることを未然に防ぐ。 ②社会的養護で生活経験のある若者に対して、家庭的な空間を利用して様々な体験の機会を設ける。体験を積み重ね成功体験を獲得することで、若者の自己肯定感が向上し、対人トラブルを回避できる可能性が高まる。 ③ボランティアが他の機関と連携して若者ひとりひとりの就労や資格取得といった目標にむかって伴走していく仕組みづくりを行う。	
新規事業・継続事業の別	※申請事業について、該当する□にチェックしてください。 <input type="checkbox"/> ① 1%応援事業の交付申請をするのは初めてである。 <input checked="" type="checkbox"/> ② 以前に1%応援事業の交付申請をしたことがある。	

収支予算書

事業名：児童養護施設などの若者に寄り添う伴走型居場所活動

1 【収入】

(単位：円)

項目	金額	説明 (積算等)
補助金収入	139,500	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会費収入	40,000	2,000円×20人
事業収入	40,000	サロン参加費 200円×200名
寄附金収入	50,000	個人@5,000円×10名
その他	60,500	自己資金
合計	330,000	

2 【支出】

(単位：円)

項目	金額	説明 (積算等)
報償費	30,000	講師謝金@5,000×2回 有償ボランティア@2,000×10名
旅費	12,000	スタッフ交通費
消耗品費	30,000	封筒、文房具、事務用品類 サロン時利用日用品類
燃料費	20,000	レンタカーのガソリン代 灯油代
食糧費	21,000	利用者・支援者の弁当・茶菓子代【補助対象外】
印刷製本費	45,000	パンフレット、チラシの印刷代
通信運搬費	84,000	郵便代(ハガキ、切手等) 24,000円 WIFI利用料 60,000円【補助対象外】
広告料	0	
保険料	14,000	ボランティア保険 500円×20人 野外活動用保険 200円×20人
手数料・委託費	20,000	野外活動体験料【補助対象外】
使用料・賃借料	20,000	野外活動用レンタカー代
原材料費	34,000	餅つき・花見開催時の食材費 調理実習食材費
備品購入費		
合計	330,000	【内、補助対象経費：229,000円】

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。